

写真管理基準

令和元年 8 月

広島県

1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。

- └ 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む）
- └ 施工状況写真
- └ 安全管理写真
- └ 使用材料写真
- 工事写真 — 十 品質管理写真
- └ 出来形管理写真
- └ 災害写真
- └ 事故写真
- └ その他（公害，環境，補償等）

2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写しこむものとする。

- (1) 工事名
- (2) 工種等
- (3) 測点（位置）
- (4) 設計寸法
- (5) 実測寸法
- (6) 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3:4程度とする。（100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度）

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (1) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (2) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

4. その他

撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。

写真管理基準

撮影箇所一覧表（全体）

区分	写真管理項目			概要
	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真 着手前 1 回 〔着手前〕	着手前 1 枚	
	完成	全景又は代表部分写真 施工完了後 1 回 〔完成後〕	施工完了後 1 枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況 月 1 回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真 工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
		創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法 1 施工箇所に 1 回 〔施工前後〕	代表箇所 1 枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真 必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、撮影毎に 1 回 〔発生時〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に 1 回 〔発生時〕	不要 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、写真測量に使用したすべての画像（ICON フォルダに格納） ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、代表箇所各 1 枚	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況 各種類毎に 1 回 〔設置後〕	不要	
		各種保安施設の設置状況 各種類毎に 1 回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況 各 1 回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況 実施毎に 1 回 〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。

写真管理基準

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に1回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		使用数量			
		保管状況			
		品質証明 (JIS マーク表示)	各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕		
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督職員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕	適宜	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		提出頻度	摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工コンク リート・吹付けコンクリ ートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験 に使用したコ ンクリートの 供試体が、当 該現場の供試 体であること が確認できる もの
		スランプ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]		コンクリート 舗装の場合適 用
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
	コンクリートの洗い分析試験				
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工コンク リート・吹付けコンクリ ートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]		
		テストハンマーによる強度推定調 査			
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が 認められた時 [試験実施中]		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回	不要	
		超音波探傷検査	[検査実施中]		
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		浸透探傷試験	試験毎に1回		
		放射線透過試験	[試験実施中]		
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		ブルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験	観察により異常が認められた 場合 [試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
含水比試験					
6	アスファルト安定処理路	アスファルト舗装に準拠		不要	
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		

写真管理基準

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイールトラッキング7試験			
		ホイールトラッキング7試験			
		ラベリング試験			
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		温度測定			
外観検査					
すべり抵抗試験					
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定 (コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]		
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回		
		コアによる密度測定	[試験実施中]		
		10	グースアスファルト舗装 (プラント)		
リュエル流動性試験 240℃					
ホイールトラッキング7試験					
曲げ試験					
粒度					
アスファルト量抽出粒度分析試験					
温度測定					
グースアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定		合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土 の締固め管理要領」による場合 は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認め られた場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所に ついて実施 [試験実施中]		
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後または含水比の変化が認め られた場合 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土 の締固め管理要領」による場合 は、写真管理を省略する		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回		
		現場CBR試験	[試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所に ついて実施 [試験実施中]		

写真管理基準

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	不要	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 [試験実施中]	不要	
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
16	吹付工（施工）	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		
		スランプ試験			
		空気量測定			
		コアによる強度試験			
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
		塩化物総量規制	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		コアによる強度試験			
		スランプ試験			
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
18 19	河川・海岸土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
21	道路土工（施工）	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	土質毎に1回		
		現場 CBR 試験	[試験実施中]		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	不要	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			

写真管理基準

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
23	コンクリートダム (材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に 1 回	不要	
		骨材の密度及び吸水率試験	[試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に 1 回		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験	[試験実施中]		
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に 1 回		
		粗骨材中の軟石量試験	[試験実施中]		
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重 1.95 の液体に浮く粒子の試験			
		練り混ぜ水の水質試験			
	コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制	配合毎に 1 回	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの 気温・コンクリート
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合		
		空気量測定	[試験実施中]		
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に 1 回		
			[試験実施中]		
		温度測定			
		コンクリートの単位容積質量試験			
		コンクリートの洗い分析試験			
		コンクリートのブリージング試験			
		コンクリートの引張強度試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
24	覆工コンクリート (NATM)	スランプ試験	品質に変化が認められた場合	不要	
			[試験実施中]		
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に 1 回		
		塩化物総量規制	[試験実施中]		
		空気量測定	品質に変化が認められた場合		
			[試験実施中]		
25	吹付けコンクリート (NATM)	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの洗い分析試験	[試験実施中]		
		塩化物総量規制	配合毎に 1 回		
		コンクリートの圧縮強度試験	[試験実施中]		
26	ロックボルト (NATM)	スランプ試験	品質に変化が認められた場合	不要	
		空気量測定	[試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合		
			[試験実施中]		
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長 40m ごとに 1 回		
26	ロックボルト (NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に 1 回	不要	
		モルタルのフロー値試験	[試験実施中]		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜		

写真管理基準

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
27	路上再生路盤工（材料）	修正 CBR 試験	材料毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工（施工）	現場密度の測定	材料毎に 1 回 [試験実施中]		
		土の一軸圧縮試験			
		CAE の一軸圧縮試験			
含水比試験					
28	路上表層再生工（材料）	旧アスファルト針入度	材料毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工（施工）	現場密度の測定	材料毎に 1 回 [試験実施中]		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
29	排水性舗装工・透水性舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイールトラッキング 7 試験			
		ホイールトラッキング 7 試験			
		ラベリング試験			
	排水性舗装工・透水性舗装工（舗設現場）	カンタプロ試験	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		温度測定			
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
30	プラント再生舗装工（プラント）	粒度	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		再生アスファルト量			
		水浸ホイールトラッキング 7 試験			
		ホイールトラッキング 7 試験			
		ラベリング試験			
	プラント再生舗装工（舗設現場）	外観検査	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		温度測定			
31	工場製作工	現場密度の測定	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
31	工場製作工	外観検査	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 [現物照合時]	不要	
		在庫品切出	当初の物件で 1 枚 [切出時] ※他は焼き増し		
		機械試験	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 [試験実施中]		
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
33	溶接工	引張試験	試験毎に 1 回 [試験実施中]	不要	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジョベルについて [試験実施中]		
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]	不要	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に 1 回 [試験実施中]	不要	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1	2	3	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔掘削後〕 「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は 1 工事に 1 回 〔掘削後〕		
							「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
1	2	3	3		盛土工	巻出し厚	200m に 1 回〔巻出し時〕 「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	代表箇所 各1枚	1-2-3-3
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕 「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は 1 工事に 1 回 〔施工後〕 「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
1	2	3	4		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-4

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・ 海岸・ 砂防土 工	5	法面整形工（盛土部）	仕上げ状況厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各 1 枚	1-2-3-5
1 共通編	2 土工	3 河川・ 海岸・ 砂防土 工	6	堤防天端工	厚さ幅	200m に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	1-2-3-6
1 共通編	2 土工	4 道路土 工	2	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	1-2-4-2
					法長 ※右のいずれか で撮影する。	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕 「TS 等光波方式を用いた出来形管理要 領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズ ム方式）を用いた出来形管理要領（土 工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来 形管理要領（土工編）（案）」、「地上型 レーザースキャナーを用いた出来形管 理要領（土工編）（案）」、「無人航空機 搭載型レーザースキャナーを用いた出 来形管理要領（土工編）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領（土工編）（案）」 による場合は 1 工事に 1 回 〔掘削後〕		
						「空中写真測量（無人航空機）を用い た出来形管理要領（土工編）（案）」に 基づき写真測量に用いた全ての画像を 納品する場合には、写真管理に代える ことが出来る。		・出来映え の撮影 ・TS 等の設 置状況と出来 形計測対象点上のプリズムの設 置状況（プリズムが必要な場合の み）がわかるように撮影

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘 要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通 編	2 土工	4 道路 土工	3 4	路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕 「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	代表箇所 各1枚	1-2-4-3
					締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
					法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕		
						「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
1 共通 編	2 土工	4 道路 土工	5	法面整形工（盛土部）	仕上り状況厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上り時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-5
1 共通 編	3 無筋 鉄筋 コン クリ ート	7 鉄筋 工	4 1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）	代表箇所 各1枚	1-3-7-4
					かぶり	コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）	代表箇所 各1枚	
1 共通 編	3 無筋 鉄筋 コン クリ ート	7 鉄筋 工	4 2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 （電磁誘導法、 電磁波レーダ法）	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所 各1枚 〔試験種別 毎〕	1-3-7-4

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	3	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔打込前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-4
						変位	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
3	2	3	5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	出来ばえ	種別毎に 1 回 〔施工後〕	不要	3-2-3-5
3	2	3	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎 5 箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	3-2-3-6
3	2	3	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落 (横断) 防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1 施工箇所 に 1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-7
						パイプ取付高	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3	2	3	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1 施工箇所 に 1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
						ビーム取付高	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3	2	3	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1 施工箇所 に 1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
						ケーブル取付高	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3	2	3	9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	不要	3-2-3-9
						出来ばえ	施工日に 1 回 〔施工前後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3-2-3-10 土木工事共通編 一般施工種	道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1 施工箇所1 回 〔施工後〕	不要	3-2-3-10
3-2-3-11 土木工事共通編 一般施工種	コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-11
		素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
		塗装状況	各層毎に 1 回 〔塗装後〕		
3-2-3-12 土木工事共通編 一般施工種	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンに 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-12
3-2-3-12 土木工事共通編 一般施工種	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンに 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-12
3-2-3-13 土木工事共通編 一般施工種	ポストテンション桁製作工	シース、PC 鋼材 配置状況	桁毎に 1 回 〔打設前〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-13
		幅 (上) 幅 (下) 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外後〕		
		中詰め及びグラ ウト状況	1 スパンに 1 回 〔施工時〕		
3-2-3-14 土木工事共通編 一般施工種	プレキャストセグメント製 作工 (購入工)	断面の外形寸法	1 スパンに 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-14
3-2-3-14 土木工事共通編 一般施工種	プレキャストセグメント主 桁組立工	組立状況	1 スパンに 1 回 〔組立時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-14
3-2-3-15 土木工事共通編 一般施工種	PC ホーロスラブ製作工	シース、PC 鋼材 配置状況	桁毎に 1 回 〔打設前〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-15
		幅厚さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外し後〕		
		中詰め及びグラ ウト状況	1 スパンに 1 回 〔施工時〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要		
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 16 1	PC 箱桁製作工	シース、PC 鋼材 配置状況	桁毎に 1 回 〔打設前〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-16
				幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外し後〕		
				内空幅 内空高さ	桁毎に 1 回 〔型枠設置後〕		
				中詰め及びグラ ウト状況	1 スパンに 1 回 〔施工時〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 16 2	PC 押出し箱桁製作工	シース、PC 鋼材 配置状況	桁毎に 1 回 〔打設前〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-16
				幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外し後〕		
				内空幅円空高さ	桁毎に 1 回 〔型枠設置後〕		
				中詰め及びグラ ウト状況	1 スパンに 1 回 〔施工時〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 17	根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-17
				ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 18	沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-2-18
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 19	捨石工	幅	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-19
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 22	階段工	幅 高さ 長さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-22
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工 工 種	3 24 1	伸縮装置工（ゴムジョイン ト）	設置状況	1 スパンに 1 回 〔設置後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-24

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 3 2 4 2	3 2 24 2 伸縮装置工（鋼製フィンガー ジョイント）	設置状況	1 スパンに 1 回 〔設置後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-24
3 2 26 1	3 2 26 1 多自然型護岸工 （巨石張り，巨石積み）	胴込裏込厚	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-26
		法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
3 2 26 2	3 2 26 2 多自然型護岸工 （かごマット）	高さ 法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-26
3 2 27 1	3 2 27 1 羽口工 （じゃかご）	法長 厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-27
3 2 27 2	3 2 27 2 羽口工 （ふとんかご，かご枠）	高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-27
3 2 28	3 2 28 プレキャストカルバート工 （プレキャストボックス 工） （プレキャストパイプ工）	据付状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-28
		※幅 ※高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 （※印は場所打ちのある場合） 〔埋戻し前〕		
3 2 29 1	3 2 29 1 側溝工 （プレキャスト U 型側溝） （L 型側溝） （自由勾配側溝） （管渠）	据付状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	不要	3-2-3-29
3 2 29 2	3 2 29 2 場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-29

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 3 29 3	暗渠工	幅 深さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	不要	3-2-2-29
3 2 3 30	集水樹工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	不要	3-2-3-30
3 2 3 31	現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-3-31
		ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
		塗装状況	各層毎 1 スパンに 1 回 〔塗装後〕		
3 2 4 1	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	3-2-4-1
3 2 4 3 1	基礎工護岸 (現場打)	幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-4-3
3 2 4 3 2	基礎工護岸 (プレキャスト)	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-4-3
3 2 4 4	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H 鋼杭)	偏心量	1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-4-4
		根入長	1 施工箇所 に 1 回 〔打込前〕		
		数量	全数量 〔打込後〕		
		杭頭処理状況	1 施工箇所 に 1 回 〔処理前, 中, 後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 4 5 土木工事共通編	場所打杭工	根入長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-4-5
		偏心量	1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕		
		数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後		
		杭頭処理状況	1 施工箇所 に 1 回 〔処理前、中、後〕		
		鉄筋組立状況	1 施工箇所 に 1 回 〔組立後〕		
3 2 4 6 土木工事共通編	深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-4-7
		偏心量	全数量 〔施工後〕		
		数量、基礎径	1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕		
		ライナープレート設置状況	1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕		
		土質	土質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕		
3 2 4 7 土木工事共通編	オープンケーソン基礎工	鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕	全枚数	3-2-4-7
		否	1 基 に 1 回 〔据付後〕		
		ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1 ロット に 1 回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
		載荷状況	1 基 に 1 回 〔載荷時〕		
		封鎖コンクリート打設状況中埋状況	1 基 に 1 回 〔施工時〕		
3 2 4 8 土木工事共通編	ニューマチックケーソン基礎工	否	1 基 に 1 回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-8
		ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1 ロット に 1 回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
		載荷状況	1 基 に 1 回 〔載荷時〕		
		封鎖コンクリート打設状況中埋状況	1 基 に 1 回 〔施工時〕		
3 2 4 9 土木工事共通編	鋼管矢板基礎工	否	1 基 に 1 回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-9
		根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1 基 に 1 回 〔設置後〕		
		載荷状況	1 基 に 1 回 〔載荷時〕		
		封鎖コンクリート打設状況中埋状況	1 基 に 1 回 〔施工時〕		

写真管理基準

編 章 節 条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
			撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 5 土 一 石 木 般 工 事 共 通 編	3 1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	厚さ(裏込)	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-5-3
			法長厚さ (ブロック積張)	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3 2 5 土 一 石 木 般 工 事 共 通 編	3 2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	法長	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回	代表箇所 各 1 枚	3-2-5-3
3 2 5 土 一 石 木 般 工 事 共 通 編	3 3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	幅	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-5-3
3 2 5 土 一 石 木 般 工 事 共 通 編	4	緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-5-4
			法長 厚さ(ブロック)	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回		
3 2 5 土 一 石 木 般 工 事 共 通 編	5	石積(張)工	厚さ(裏込)	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-5-5
			法長 厚さ(石積・張)	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	1	7	アスファルト舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-7
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
						敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕		
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	2	7	アスファルト舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-7
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-7
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	1,000m ² に 1 回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-7
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 枝 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 6 1 一般舗装工	アスファルト舗装工（基層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
		タックコート, プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
		幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 2 6 1 一般舗装工	アスファルト舗装工（表層工）	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
		タックコート, プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
		平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
3 2 6 1 一般舗装工	半たわみ性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
		転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
		厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
		幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工（上層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-8
					転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
					整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
					粒度調整路盤工	厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工（上層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-8
					セメント（石灰）安定処理工	整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
					厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	8	4 半たわみ性舗装工（加熱ア スファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-8
					整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	8	5 半たわみ性舗装工（基層 工）	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-8
					タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3	2	6	8	6 半たわみ性舗装工（表層 工）	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-8
					タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
					浸透性ミル注入 状況	400m に 1 回 〔注入時〕		
					平坦性	1 工事 1 回 〔実施中〕		
3	2	6	9	1 排水性舗装工（下層路盤 工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
					整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
					厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	9	2	排水性舗装工（上層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
					転圧状況				
					整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
					厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	9	3	排水性舗装工（上層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
					転圧状況				
					整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
					厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 6 1 9 4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事）（案）」、「地上 移動体搭載型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3 2 6 1 5	排水性舗装工（基層工）	修正状況	400m に 1 回 〔修正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
		タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3 2 6 1 6	排水性舗装工（表層工）	修正状況	400m に 1 回 〔修正後〕	代表箇所各 1 枚	3-2-6-9
		タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
		平坦性	1 工事に 1 回 〔実施中〕		
3 2 6 1 10 1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-9
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 6 10 2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-10
		タックコート, プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
		平坦性	1 工事に 1 回 〔実施中〕		
3 2 6 11 1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処 理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-11
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3 2 6 11 2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-11
		タックコート, プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3 2 6 11 3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所各 1 枚	3-2-6-11
		タックコート, プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
		平坦性	1 工事に 1 回 〔実施中〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	1	12	コンクリート舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
						敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	2	12	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000m ² に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工（アスファルト中間層）	幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕		
						タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						スリップバー、 タイバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						目地段差	1工事に1回		
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工（転圧 コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工（転圧 コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-12
						敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕		
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
						厚さ	1,000m ² に 1 回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）」を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

写真管理基準

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工（転圧 コンクリート版工） アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工（転圧 コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工（連続 鉄筋コンクリート舗装工）	石粉、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						横膨張目地部ダ ウエルバー寸 法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕		
						縦そり突合せ目 地部・縦そりダ ミー目地部タイ バー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設 前後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上型レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地 上移動体搭載型レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」、「TS（ノンプリズム方式）を 用いた出来形管理要領（舗装工事編） （案）」により「厚さあるいは標高較 差」を管理する場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕		
						目地段差	1工事に1回		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 6 1 3 1	一般舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-13
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3 2 6 1 3 2	一般舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-13
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3 2 6 1 3 3	一般舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-13
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		厚さ	1,000m ² に 1 回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
3 2 6 1 3 4	一般舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-13
		転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔修正後〕		
3 2 6 1 3 5	一般舗装工 （基層工）	整正状況	400m に 1 回 〔修正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-13
		タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
		厚さ	1,000m ² に 1 回 〔修正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 6 1 4 1	一般舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-14
		整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3 2 6 1 4 2	一般舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-14
		整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3 2 6 1 4 3	一般舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-14
		整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
		厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3 2 6 1 4 4	一般舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-14
		整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕		
3 2 6 1 4 5	一般舗装工 （基層工）	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-14
		タックコート、 プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
3 2 6 1 5	一般舗装工 （路面切削工）	幅 厚さ（基準高）	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕 ただし、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による場合は 1 工事に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-15

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	16	舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1 施工箇所 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-16
			17	オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-6-17
					タックコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
					整正状況	400m に 1 回 〔施工後〕		
	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	2	路床安定処理工	施工厚さ 幅	40m に 1 回〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-2
			3	置換工	置換厚さ 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-3
	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	5	パイルネット工	厚さ 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-5
			6	サンドマット工	施工厚さ 幅	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-6
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	8	バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200m ² 又は 1 施工箇所に 1 回 〔打込み前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-7
					杭径 位置・間隔	200m ² 又は 1 施工箇所に 1 回 〔打込後〕		
					砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔杭径	1 施工箇所に 1 回 〔打込後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-7-9
					深度	1 施工箇所に 1 回 〔打込前後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3-2-7-9 土木工事共通編 一般改良工	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ～4,000m ³ につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
3-2-10-5 土木工事共通編 一般施工	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
		数量	全数量 〔打込後〕		
3-2-10-5 土木工事共通編 一般施工	土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
		配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3-2-10-5 土木工事共通編 一般施工	土留・仮締切工(連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3-2-10-5 土木工事共通編 一般施工	土留・仮締切工(締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3-2-10-5 土木工事共通編 一般施工	土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3-2-10-9 土木工事共通編 一般施工	地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-9
3-2-10-10 土木工事共通編 一般施工	地中連続壁工(柱列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-10

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 土木工事共通編	10 仮設工	22	法面吹付工	第3編 2-14-3 吹付工に準ずる	3-2-10-22
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	1 1	鋳造費（金属支承工）	製作状況 適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-1
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	1 2	鋳造費（大型ゴム支承工）	製作状況 適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-1
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	1 3	仮設材製作工	原寸状況 1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-1
				製作状況 適宜〔製作中〕	
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	1 4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長 1施工箇所に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-1
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	3 1	桁製作工（仮組立による検査を実施する場合） （シミュレーション仮組立検査を行う場合）	原寸状況 1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-3 ※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
				製作状況 適宜〔製作中〕	
				仮組立寸法 （撮影項目は適宜） 1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	3 2	桁製作工（仮組立検査を実施しない場合）	原寸状況 1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-3
				製作状況 適宜〔製作中〕	
3 2 土木工事共通編	12 工場製作工	3 3	桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	仮組立寸法 （撮影項目は適宜） 1基に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚 3-2-12-3

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要			
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	4	検査路製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-4
				製作状況	適宜〔製作中〕			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	5	鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-5
					製作状況	適宜〔製作中〕		
					仮組立寸法	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	6	落橋防止装置製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-6
					製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	7	橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-7
					製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	8	アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 （撮影項目は適 宜）	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-8
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	9	プレビーム用桁製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-9
					製作状況	適宜〔製作中〕		
					仮組立寸法	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	10	鋼製排水管製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-10
					製作状況	適宜〔製作中〕		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	11	工場塗装工	材料使用量 （塗料缶）	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-12-11
					素地調整状況 （塗替）	部材別〔施工前後〕		
					塗装状況	各層毎に 1 回 〔塗装後〕		

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工 種	写真管理項目			摘 要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	13	1	架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	3-2-13-1
3	2	14	2	植生工(種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工, 植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1 工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
					土羽土の厚さ	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工中〕		
					法長	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
3	2	14	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
					ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔吹付前〕		
					厚さ(検測孔)	200m2 又は 1 施工箇所に1回 〔吹付後〕		
					法長	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
					材料使用量	1 工事に1回 〔混合前〕		
3	2	14	3	吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-3
					ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔吹付前〕		
					法長	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
					厚さ(検測孔)	200m2 又は 1 施工箇所に1回 〔吹付後〕		
3	2	14	4	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長, 幅, 高さ, 枠中心間隔	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	2	14	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m 又は 1 施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	2	14	6	アンカー工	削孔深さ	1 施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-6
					配置誤差	1 施工箇所に1回 〔施工後〕		

写真管理基準

編 章 節	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
			撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 2 土木工事共通編	15 一般施工	1 場所打擁壁工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-15-1
			厚さ 幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕		
3 2 土木工事共通編	15 一般施工	2 プレキャスト擁壁工	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-15-2
3 2 土木工事共通編	15 一般施工	3 盛土補強工 (補強土 (テールアルメ) 壁工法) (多数アンカー式補強土工 法) (ジオテキスタイルを用い た補強土工法)	高さ 鉛直度	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-15-3
3 2 土木工事共通編	15 一般施工	4 井桁ブロック工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-15-4
			法長 厚さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
3 2 土木工事共通編	16 浚渫工	1 浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-16-1
3 2 土木工事共通編	18 床版工	1 床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1 スパンに 1 回 〔打設前後〕	代表箇所 各 1 枚	3-2-18-1

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6	1	7	4		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-1-7-4
6	1	10	8		杭出し水制工	径 杭長 幅 方向	1 施工箇所 に 1 回 〔打込み前〕 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-1-10-8
6	1	13	3		配管工	配管状況	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	6-1-13-3
6	1	13	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	6-1-13-4
6	3	5	1		函渠工（本体工）	厚さ 幅 内空幅 内空高	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	6-3-5-6
6	3	5	2		函渠工 （ヒューム管） （PC 管） （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）	据付状況	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔巻立前〕	不要	6-3-5-6
6	3	5	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	6-3-5-7

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編 3 樋門・樋管 5 樋管本体工 8	水叩工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所1に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	6-3-5-8
6 河川編 4 水門 6 水門 7 堰柱工 8 門柱工 9 ゲート操作台工 10 本体工 11	床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所1に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所各1枚	6-4-6-7
6 河川編 4 水門 9 鋼管 10 管理橋上部工 1	支承工（鋼製支承）	支承取付状況	1 スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所各1枚	6-4-9-10
6 河川編 4 水門 9 鋼管 10 管理橋上部工 2	支承工（ゴム支承）	支承取付状況	1 スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所各1枚	6-4-9-10
6 河川編 4 水門 12 橋梁付属物工（鋼管理橋） 4	地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1 施工箇所1に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	6-4-12-4
6 河川編 4 水門 12 橋梁付属物工（鋼管理橋） 5 6	橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1 施工箇所1に1回 〔施工後〕	代表箇所各1枚	6-4-12-5

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編 4 水門 12 橋梁 付 属 物 工 (鋼 管 理 橋) 7	検査路工	幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-4-12-7
6 河川編 5 堰 6 可 動 堰 本 体 工 13 14	閘門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-5-6-13 6-5-6-14
6 河川編 5 堰 7 固 定 堰 本 体 工 8 9 10	堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10
6 河川編 5 堰 8 魚 道 工 3	魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m 又は測定箇所毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-5-8-3
6 河川編 5 堰 9 管 理 橋 下 部 工 2	管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-5-9-2
6 河川編 6 排水機 場 機 場 本 体 工 4 6	本体工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-6-4-6
6 河川編 6 排水機 場 機 場 本 体 工 4 7	燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	適宜	6-6-4-7
6 河川編 6 排水機 場 機 場 本 体 工 5 7	コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-6-5-7
6 河川編 7 床止め ・ 床固め 4 6 1	本体工 (床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	6-7-4-6

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
					撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8 1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-4-8
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6	側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-5-6

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
7	河川海岸編	1	5	5	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-5-5
7	河川海岸編	1	5	6	海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 据付状況	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕 200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-5-6
7	河川海岸編	1	6	4	海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 法長 厚さ	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔施工後〕 200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-6-4
7	河川海岸編	1	6	5	コンクリート被覆工	法長 厚さ 裏込材厚	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-6-5
7	河川海岸編	1	8	2	コンクリート被覆工	幅 厚さ 基礎厚	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-8-2
7	河川海岸編	1	9	3	波返工	幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-1-9-3
7	河川海岸編	2	4	4	捨石工	法長 天端幅	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-4-4
7	河川海岸編	2	4	5	吸出し防止工	幅	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-4-5
7	河川海岸編	2	5	2	捨石工	法長 天端幅	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-2

写真管理基準

編 章 節 条 枝 番	工種	写真管理項目			摘要			
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	5	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-5
				ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕			
				天端幅	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕			
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	9	石砕工	厚さ 高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-9
					間詰石状況	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	10	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-10
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	11	ケーソン工（ケーソン工製作）	壁厚 幅 高さ 長さ 底板厚さ フーチング高さ	1 基に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-11
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	11	2 ケーソン工（ケーソン工据付）	据付状況	1 施工箇所に 1 回 〔据付後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-11
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	11	3 ケーソン工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-11
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	12	1 セルラー工（セルラー工製作）	壁厚 幅 高さ	1 基に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-12
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	12	2 セルラー工（セルラー工据付）	据付状況	1 施工箇所に 1 回 〔据付後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-12
7 河 川 海 岸 編 岬	2 突 堤 ・ 人 工 工 岬	5 突 堤 本 体 工	12	3 セルラー工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ幅	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-5-12

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
7 河 川 海 岸 編	2 突 堤・人 工 岬 根 固 め 工	2 捨石工	法長 天端幅	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-6-2
7 河 川 海 岸 編	2 突 堤・人 工 岬 根 固 め 工	3 根固めブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-6-3
7 河 川 海 岸 編	2 突 堤・人 工 岬 消 波 工	3 消波ブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	7-2-7-3
7 河 川 海 岸 編	3 海 域 堤 防（人 工 リー フ， 離 岸 堤， 潜 堤）	3 捨石工	法長 天端幅	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	7-3-3-3

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
8	1	3	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	8-1-3-4
						製作状況	適宜〔製作中〕		
8	1	8	4		コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製 造 運搬	月に1回〔施工中〕	各月1枚	8-1-8-4
						打継目処理 打込・養生	4リフトに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8	1	8	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-6
8	1	8	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-8
8	1	9	5	1	鋼製堰堤本体工（不透過 型）	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本体工（透過型）	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5
8	1	9	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-6
8	2	5	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-2-5-8
8	3	6	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	不要	8-3-6-4

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
8 3 7 4 砂 斜 地 防 面 下 編 対 水 除 工	集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	8-3-7-4
8 3 7 5 砂 斜 地 防 面 下 編 対 水 除 工	集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	不要	8-3-7-5
8 3 9 6 砂 斜 抑 防 面 止 編 対 杭 工	合成杭工	偏心量	1 施行箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	8-3-9-6
		数量	全数量 〔打込後〕		

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
9	ダム編	1	4	ダムコンクリートダム工	コンクリートダム工 (本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	1	4	ダムコンクリートダム工	コンクリートダム工 (水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
						打継目処理	奇数ブロック毎に岩着部中間リフトに 1回		
9	ダム編	1	4	ダムコンクリートダム工	コンクリートダム工 (副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	1	4	ダムコンクリートダム工	コンクリートダム工 (導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9	ダム編	2	4	5	コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-5
9	ダム編	2	4	6	フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-6
9	ダム編	2	4	7	ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-7

写真管理基準

編 章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
9 ダム 編	2 フィル ダム			フィルダム（洪水吐）	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2
9 ダム 編	3 基礎 グ ラウ チ ン グ	3		ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 深度 配置誤差 コアー	ブロック毎に1回 〔施工中〕 地質変化毎全数量 〔抜取後〕	適宜	9-3-3

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10	1	3	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所 に 1 回 〔製作後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-3-2
10	1	9	6		場所打函渠工	厚さ 幅（内空） 高さ	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-9-6
10	1	11	4		落石防止網工	幅	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-11-4
10	1	11	5		落石防護柵工	高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-11-5
10	1	11	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-11-6
10	1	11	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-11-7
10	1	12	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎 5 箇所 に 1 回（施工前は 必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	10-1-12-5
10	1	12	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-1-12-5
10	2	4			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	10-2-4
						転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要	
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
10 道 路 編	2 舗 装 工	4 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況 400mに1回 〔整正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 平坦性 1工事に1回 〔実施中〕	代表箇所 各1枚	10-2-4	
10 道 路 編	2 舗 装 工	5 排水構造物工 (路面排水工)	9 排水性舗装用路肩排水工	据付状況 200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	不要	10-2-5-9
10 道 路 編	2 舗 装 工	7 踏掛版工	4 踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト) ＜コンクリート工＞ 各部の厚さ 各部の長さ ＜ラバーシュー＞ 各部の長さ 厚さ ＜アンカーボルト＞ 中心のずれ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-2-7-4
10 道 路 編	2 舗 装 工	9 標識工	4 大型標識工（標識基礎工）	幅 高さ 基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	適宜	10-2-9-4
10 道 路 編	2 舗 装 工	9 標識工	4 大型標識工（標識柱工）	設置高さ 1施工箇所に1回	適宜	10-2-9-4
10 道 路 編	2 舗 装 工	12 道路付属施設工	5 ケーブル配管工	配管状況 100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	10-2-12-5
10 道 路 編	2 舗 装 工	12 道路付属施設工	5 ケーブル配管工（ハンドホール）	厚さ 幅 高さ 100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	10-2-12-5-2
10 道 路 編	2 舗 装 工	12 道路付属施設工	6 照明工（照明柱基礎工）	幅 高さ 基礎タイプ毎5箇所に1回（施工前は 必要に応じて） 〔施工前後〕	適宜	10-2-6

写真管理基準

編 章 節 条 枝 番	工種	写真管理項目			摘要		
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	3	鋼製橋脚製作工	原寸状況 製作状況 仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕 適宜〔製作中〕 1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-3-3
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	6	橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-6-8
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	7	RC 橋脚工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-7-9
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	7	RC 橋脚工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-7-9
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	8	橋脚フーチング工 (I 型・T 型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-8-9
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	8	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-8-9
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	8	橋脚架設工 (I 型・T 型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1 回 〔架設中〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-8-10
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	8	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1 回 〔架設中〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-8-10
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部 工	8	現場継手工	継手部のすき間	1 施工箇所毎に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-3-8-11
10 道 路 編	4 橋 梁 上 部 工	3	橋梁用高欄製作工	原寸状況 製作状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕 適宜〔製作中〕	代表箇所 各 1 枚	10-4-3-9

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要		
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
10 道 路 編	4 橋 梁 上 部 工	3	落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	1 施工箇所に 1 回〔削孔後〕	代表箇所 各 1 枚	10-4-8-3
10 道 路 編	5 コン クリ ート 橋 上 部 工	2	プレベーム桁製作工（現 場）	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	10-5-6-2
				製作状況	適宜〔製作中〕		
				仮組立寸法 （撮影項目は適 宜）	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
				幅 高さ	桁毎に 1 回 〔型枠取外し後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル （ NA TM ）	3	吹付工	岩質	岩質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-4-3
				湧水状況	適宜〔掘削中〕		
				吹付面の清掃状 況	80m 毎に 1 回 〔清掃後〕		
				金網の重合せ状 況	80m 毎に 1 回 〔2 次吹付前〕		
				吹付け厚さ（検 測孔）	80m 毎に 1 回 〔吹付後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル （ NA TM ）	4	ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は 80m に 1 断面 〔穿孔中〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-4-4
				ロックボルト注 入状況	施工パターン毎又は 80m に 1 断面 〔注入中〕		
				ロックボルト打 設後の状況	施工パターン毎又は 80m に 1 断面 〔打設後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル （ NA TM ）	5	覆工コンクリート工	覆工 （巻立空間）	1 セントルに 1 回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-5-3
				覆工 （厚さ）	1 セントルに 1 回 〔型枠取外し後〕		
				幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
10 道 路 編	6 トン ネル （ NA TM ）	5	床版コンクリート工	幅 厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-5-5
10 道 路 編	6 トン ネル （ NA TM ）	4	インバート本体工	インバート （厚さ）	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-6-4
				幅（全幅）	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要			
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル （ NA TM ）	8 坑 門 工	4	坑門本体工	幅 高さ	1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-8-4
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル （ NA TM ）	8 坑 門 工	5	明り巻工	覆工 （巻立空間）	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各 1 枚	10-6-8-5
					覆工 （厚さ）	40m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕		
					幅（全幅） 高さ（内法）	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
10 道 路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	2	現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-6-2
10 道 路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	4	カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1 施工箇所に 1 回 〔設置後〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-6-4
10 道 路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	1 防水工（防水）	幅	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-6-5
10 道 路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 ち 構 築 工	5	2 防水工（防水保護工）	厚さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-6-5
10 道 路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	3 防水工（防水壁）	高さ 幅 厚さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-6-5
10 道 路 編	11 共 同 溝	7 プ レ キ ャ ス ト 構 築 工	2	プレキャスト躯体工	据付状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	10-11-7-2

写真管理基準

編 章 節 条 番	工種	写真管理項目			摘要		
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度			
10 道 路 編	12 電 線 共 同 溝 工	5 2	管路工（管路部）	敷設状況	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔敷設後〕	代表箇所 各 1 枚	10-12-5-2
10 道 路 編	12 電 線 共 同 溝 工	5 3	プレキャストボックス工 （特殊部）	据付状況	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔据付後〕	代表箇所 各 1 枚	10-12-5-3
10 道 路 編	12 電 線 共 同 溝 工	5 4	現場打ちボックス工（特殊 部）	厚さ 内空幅 内空高	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚	10-12-5-4
10 道 路 編	12 電 線 共 同 溝 工	6 2	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	不要	10-12-6-2
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 5	切削オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	10-14-4-5
				タックコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕		
				整正状況	400m に 1 回 〔施工後〕		
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 7	路上再生工	敷均厚	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	10-14-4-11
				転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕		
				整正状況 厚さ	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 11	グルーピング工	出来ばえ	施工日に 1 回 （施工前後）	不要	10-16-3-4
10 道 路 編	16 道 路 修 繕 工	3 4	桁補強材製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕	代表箇所 各 1 枚	10-16-3-4
				製作状況	適宜 〔製作中〕		
				仮組立寸法 （撮影項目は適 宜）	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕		
10 道 路 編	16 道 路 修 繕 工	22 4	落橋防止装置工	長さ、 径、 材質	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回 （材料搬入時）	代表箇所 各 1 枚	10-16-22-4
				出来ばえ	適宜 （施工中）		

撮影箇所一覧表（その他）

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度			
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1 施工箇所に 1 回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚	その他	
					ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	適宜	その他	
						仮締切（土石）	巻出し厚	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔巻出し時〕	適宜	その他	
							転圧状況	転圧機械が変わる毎に 1 回 〔締固時〕			その他
					仮締切（コンクリート）	厚さ、高さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	適宜	その他		
					基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎に 1 回 〔施工中〕	適宜	その他		
						土質、岩質	土質、岩質変わる毎に 1 回 〔掘削中〕			その他	
						岩盤清掃状況	1 施工箇所に 1 回 〔清掃前後〕			その他	
					堤体コンクリート打設	骨材採取製造、 コンクリート製造、 運搬	月に 1 回〔施工中〕	適宜	その他		
						打継目処理、打込養生	8 リフトに 1 回 〔施工中〕			その他	
					堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、 岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて 4 リフトに 1 回 〔据付後〕	適宜	その他		
					堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水 管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて 4 リフトに 1 回 〔据付後〕	適宜	その他		
					堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5 リフトに 1 回 〔据付後〕	適宜	その他		
					堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1 施工箇所に 1 回 〔据付後〕	適宜	その他		
					トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各 1 枚	その他	
						トンネル（矢板工法）	岩質	岩質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	その他	
							湧水状況	適宜 〔掘削中〕			その他
							埋設支保工（建込間隔、寸法、基数）	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔建込後〕			その他
						湧水処理工設置状況	全数量 〔設置後〕			その他	

写真管理基準

編 号	章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
その他					トンネル（矢板工法）	集水渠（幅、高さ、位置）	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔設置後〕	代表箇所 各 1 枚	その他
						地下排水工（管 接合据付状況）			
						地下排水工 （フィルター厚 さ）	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔投入前後〕	代表箇所 各 1 枚	その他
						矢板設置状況	岩質の変わる毎に 1 回 〔設置後〕		その他
						グラウト材料使用 量	全数量〔使用前後〕		その他
					シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に 1 回 〔掘削中〕	代表箇所 各 1 枚	その他
						セグメント組立 状況	1 工事に 1 回 〔組立後〕		その他
						二次覆工（セグ メント清掃状 況）	1 工事に 1 回 〔清掃後〕		その他
						二次覆工の厚さ	1 スパンに 1 回 〔型枠取外し後〕		その他
				維持 修繕 工 関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に 1 回 〔施工前後〕	不要	その他
					コンクリート舗装	目地掃除	3, 000m ² に 1 回 〔施工前後〕	不要	その他
						目地充填	3, 000m ² に 1 回 〔施工後〕		その他
						注入工、削孔状 況（位置、間 隔）	2, 000m ² に 1 回 〔削孔後〕		その他
						注入工、注入圧	2, 000m ² に 1 回 〔注入時〕		その他
						目地亀裂防止 材、張付け状況	3, 000m ² に 1 回 〔張付け後〕		その他
						局部打換、各層 厚さ	各層毎 100m に 1 回又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工前後〕		その他
					路肩、路側路盤工	厚さ	100m に 1 回又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚	その他
					道路除草	出来ばえ	5 km に 1 回（1 回刈毎） 〔施工前後〕	適宜	その他
					路肩整正	出来ばえ	1 km に 1 回	適宜	その他
					新設、更新、修理防護柵 類	出来ばえ	1 施工箇所 に 1 回（施工前は必要に応 じて） 〔施工前後〕	適宜	その他

写真管理基準

編 号	章	節	条	枝 番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
その他				維持 修繕 工 関 係	新設, 更新, 修理標識類	基礎幅, 深さ, 出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)[施工前後]	適宜	その他
					新設, 更新, 修理照明灯	基礎幅, 深さ, 出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)[施工前後]	適宜	その他
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回[施工後]	適宜	その他
					清掃(路面, 標識, 側溝, 集水桝)	出来ばえ	施工日に1回[施工前後]	適宜	その他
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回[施工前後]	適宜	その他
						材料使用量	全数量[施工前後]	適宜	その他
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜[施工前後]	適宜	その他
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜[施工前後]	適宜	その他
					街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本に1回, グリーンベルト100mに1回[施工前後]	適宜	その他
					街路樹消毒, 施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回, グリーンベルト100mに1回[施工中]	適宜	その他
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜[施工後]	適宜	その他
					排雪除雪	施工状況, 機種	施工中に1回施工中	適宜	その他
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回施工中	適宜	その他
						材料使用量	全数量[施工前後]	適宜	その他
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎)[施工前後]	適宜	その他
					応急処置	処理の状況	その都度[施工前後]	適宜	その他
					鉄筋配筋	位置, 間隔, 継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所に1回[組立後]	適宜	その他
					無筋コンクリート打設	打継目処理, 締固施工状況	工種種別毎に1回[施工時]	1施工ブロック各1枚	その他
					養生	養生状況	工種種別毎に1回, 養生方法毎に1回[養生時]		その他

別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

5. 総則

5-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

5-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。

- | | | | |
|------|---|-----------------------|----------------|
| | ┐ | 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む） | |
| | └ | 施工状況写真 | |
| | └ | 安全管理写真 | |
| | └ | 使用材料写真 | |
| 工事写真 | — | + | 品質管理写真 |
| | └ | | 出来形管理写真 |
| | └ | | 災害写真 |
| | └ | | 事故写真 |
| | └ | | その他（公害，環境，補償等） |

6. 撮影

6-1 撮影頻度

工事写真は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

6-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- (1) 工事名
- (2) 工種等
- (3) 測点（位置）
- (4) 設計寸法
- (5) 実測寸法
- (6) 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

6-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

6-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

6-5 撮影の仕様

写真の色彩や大きさは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
 - (2) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。
- ただし、監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

6-6 留意事項

写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

7. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各 1 部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

(1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

(2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4 切版又は A4 版とする。

8. 4 その他

写真管理基準（案）撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは工事写真帳として貼付整理し提出する必要があることをいう。